

## 【要望内容】

福島・国際研究産業都市（イノベーション・コースト）構想は、浜通りの地域再生のエンジンになるものであり、地元の期待も極めて大きい。政府一体となった構想の推進体制を早急に構築するとともに、構想の具体化に向かって必要な財政支援を講じること。

特に、国際産学連携拠点の整備や、災害対応ロボット技術開発については、構想の要となる事業であることから必要な予算措置を確実に講じること。

## イノベーション・コースト構想(H26.6.23とりまとめ)

### 《概要》

#### ① 国際廃炉開発研究拠点（放射性物質分析・研究施設）

#### ② ロボット開発・実証拠点

- モックアップ施設（屋内ロボット）
- 災害対応ロボットテストフィールド（屋外ロボット）
- 災害対応ロボット技術開発への支援 など

#### ③ 国際産学連携拠点

#### ④ 新たな産業集積

- スマート・エコパーク（災害廃棄物リサイクル・希少金属抽出）
- エネルギー関連産業(IGCC、LNG、洋上風力、産総研の研究開発など)
- 農林水産業プロジェクト（スマート農業など）

#### ⑤ インフラ整備

### 必要な施策

- 構想実現に向けて政府一体となった取組
- まず、実現の第一歩として、構想の要となる事業への予算措置
  - ・ 国際産学連携拠点
  - ・ 災害対応ロボット技術開発支援（H26：約7億円）



#### 骨太の方針2014(H26.6.24)（抜粋）

原子力災害からの復興・再生については、（中略）住民の帰還意向や地域経済の将来ビジョン15、復興の絵姿を踏まえた地域づくりの検討を推進する。

脚注15 「福島・国際研究産業都市（イノベーション・コースト）構想」平成26年6月23日、福島・国際研究産業都市（イノベーション・コースト）構想研究会）

#### 東日本大震災地域の産業復興創造戦略(H26.6.10)（抜粋）

特に、福島県の浜通り地域については、「福島・国際研究産業都市（イノベーション・コースト）構想研究会」での廃炉関連研究拠点等の検討を踏まえた新産業の創出集積を進めていく。